

# 開館までもう少し

白鳥が飛来する  
季節になりました

一足早く札内暁町に  
白鳥をデザインした屋根の  
幕別町札内スポーツセンターが  
姿をあらわしました

あとは周辺の整備だけ  
12月3日の記念イベントで  
オープン!!

もう少しであなたにも…

# 快汗が待っています



**11**  
1989  
No.454

# まほ

広報

10月1日現在 男 10,596人  
人口 21,783人 女 11,187人  
(前月比±0人) 世帯数 6,797世帯



# 国民宿舎幕別温泉ホテルは 民間企業で再開発します。

町民の皆さまに長い間親しまれてきた町営国民宿舎幕別温泉ホテルが、平成二年三月末で二十一年の長い歴史の幕を閉じることになりました。

幕別温泉ホテルは昭和四十三年にオープン。以来、低料金と家族的サービスが好評を得、たくさんの人達に利用されてきましたが、近年は施設の老朽化が原因による不満の声が数多く出ていました。

そこで町は、改築を核とする温泉周辺の再開発を町営、第三セクター、民間活力の導入の三方式で三年前から検討を続けていました。その結果、将来展望に立つて民間活力の導入を選択。このほど札幌市の北海道振興株式会社に幕別温泉ホテルを譲渡することになりました。

今後は同社が平成二年度に新ホテルの建設に着手し、町としても周辺の依田公園の拡張整備を行っていくことになっていきます。

今月号は、民間活力の導入に至った経緯、今後の展望などについてお知らせします。

## ●オープンから譲渡

### 民間導入に 至るみちのり

建築後21年がたち  
利用者のニーズが変化

昭和四十三年十二月二十日、だれもが低料金で利用できる場の提供と町民の健康増進を図ることなどを目的に、町営国民宿舎幕別温泉ホテルがオープン。その後、多くの人が利用されてきたが建築後二十一年がたち、老朽化が進んだことにより利用客から苦情が出されるようになった。また近年は大型観光の志向が強まり、全国的に利用客のニーズも変化してきているため、町営のまま新たな投資（全面改

# 町営よりも民営の方がメリット大きい だから民営を選びました

## 老朽化で利用伸びず

幕別温泉ホテルは建築後二十一年を経過し、みなさんご存知のとおり、あちこちに傷みが目立ってきました。また個人住宅の飛躍的な改善により、一層温泉の老朽化が気になります。

利用する者にとって、普段生活している自分の家よりもきれいな部屋、すてきな建物、設備を望むのは当然のことです。でも今の温泉では利用者の要望に応えることができず、これが経営上の大きなハンデとなって、近年の利用客の伸び悩みの一因となっています。

## 町の持ち出しで収支を保つ

幕別温泉ホテルの各年度の決算を見ると、ほぼ毎年純利益を上げ一時、前年よりも落ち込みましたが、ここ二、三年は回復の兆しを見せています。しかしこの利益は、町からの持ち出し（施設建設当時の借入金元金と利息相当分）があったからこそ生まれてきたもので、町の持ち出しがなければ利益が出たかどうかは難しいところ（表二参照）

また六十三年度の宿泊利用者は三万六千七百七十七人で、そのうち町民は三千四百七十七人、一・三％の利用にとどまり、この割合は、ここ十年ほど変わっていません。（表一参照）

表1 宿泊客の地域別割合

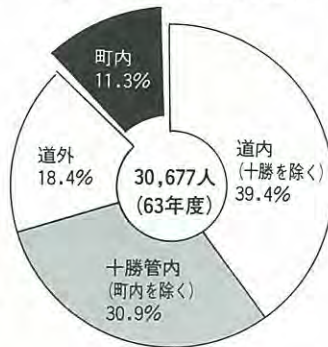
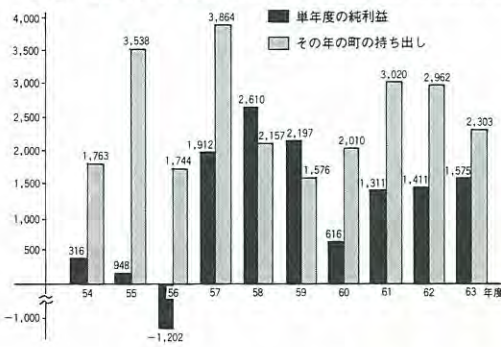


表2 単年度の純利益と町の持ち出し（単位万円）



## 集客力は民営の方がある

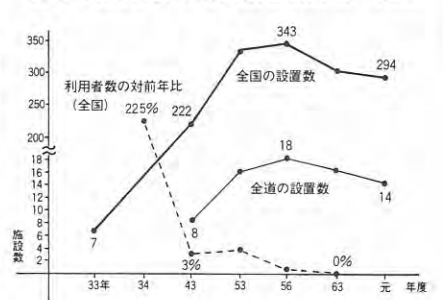
老朽化による利用客の伸び悩みを解消する一番の方法は、改築ですが、今の利用客が望む施設を建てるにすれば、その費用は何十億もかかるでしょう。もしこれを町が建てた時、その建設にかかった費用を回収するのは難しいと考えられます。なぜなら国民宿舎の利用料金は、環境庁の指導により上限が決まられていますし、町営では集客能力にも限りがあります。

一方、民間は幅広いサービスが展開できますし、系列のホテルをつないで観光ルートをつくるなど、集客能力も高いと言えます。民営によって多くの人が集まりマチがPRされるという、相乗効果が生まれる可能性もあります。

## 全国的に国民宿舎は減少

国民宿舎の建設は昭和三十年代から始まり、当時は全国でも七施設しかありませんでした。幕別温泉が建設された四十三年には全国で二百二十二、全道で八、ピークは五十六年の三百四十三と十八でした。その後減少し、現在は二百九

表3 国民宿舎の設置数と利用者の推移



十四と十四施設となり、その全道のうち三施設は、すでに町営ではなくなっています。また利用者数が順調に伸びたのは四十二年までで、その後はマイナスが横バイの状況が続いています。（表三参照）

余暇時代の到来と言われて久しくなりますが、人々の余暇の過ごし方は大きく変化し、多少高くてもきれいな建物で、できれば回りで何か体験したい。こういうニーズに国民宿舎では対応が難しくなってきたと言えてしょう。

## 税収増で福祉充実を検討

民営による実質的なプラス面として、税収入による財源増も見がせません。利用者が多いほど入湯税も増え、また新たに固定資産税も入ります。さらに今まで町から持ち出していた分がなくなりま

築をして長期間の経営が可能かどうかの検討が必要になった。  
61年から改築を検討  
民間導入が最適と判断

昭和六十一年八月、町職員のプロジェクトチーム「観光と産業文化を考える会」が発足、翌年二月までに十二回にわたる討議を続けた。また六十一年、六十二年に民間コンサルタント二社にコンサルをかけるなど、いろいろな角度で検討を進めてきた。

その結果、町からの持ち出しで経営を支えている現状の中で、町営で改築をすれば町への影響を増大させるだけでなく、投資の回収も困難と判断。民間活力の導入を図ることが最適との結論に至った。

## 執行方針で経緯を説明 議会は特別委で調査

以来、複数の企業に打診。その中でホテル業の実績と経営ノウハウがあり、住民福祉を後退させないという町の方針に合致した「北海道振興株式会社（本社・札幌市）」と交渉を進めた。

この経緯は今年三月八日、定例町議会の行政執行方針の中で町長が説明。議会は同日、八議員による特別委員会（伏屋隆徳委員長）を設置し以後、北海道振興が過去に町営ホテルを改築

# 譲渡をするのは

## 覚書の内容

ホテル—1億300万  
土地—約3ヘクタール  
源泉—無償譲渡

建物を一億二百万円で譲渡  
新ホテル建設は平成二年度

幕別町と北海道振興株式会社との間でとりかわされた「覚書」の内容によると、現在の幕別温泉ホテルの建物を一億二百万円で譲渡することになりました。

この金額は平成二年度末起債残高相当額（建設のために借りたお金の残金）で、正式契約は町議会

で議決後の十二月以降になる見込みです。

なお新しいホテルは平成二年度に着工、完成は平成三年春になる予定です。

### 土地は五年間無償貸与 その後適正価格で譲渡

土地については左上地図のアメリカにかかっている部分が対象となります。面積約三ヘクタールを五年間、無償で貸し付け、五年経過後にその時の適正価格で譲渡することになります。

### 源泉は無償譲渡 特養などへの分湯は続く

温泉源泉については、無償譲渡となつていますが、現在この源泉から分湯している特別養護老人ホーム、老人福祉センター、萩原医院まぐべつ分院への分湯は、引き続き行います。

### ご安心下さい 住民サービスは続けます

民間経営になったら、今まで町がみなさんにお渡ししていた無料入浴券がなくなってしまうのではないかと心配されている方はいらっしやいませんか。

みなさん、ご安心下さい。民間の新しいホテルになっても町は今まで行ってきた住民福祉サービス（入浴）は、引き続き行う考えです。

前のページから続く  
経営を続けている網走管内佐呂間町の視察を含め、精力的に調査を続けた。その調査結果が十月十八日の臨時町議会において中間報告された。

### 特別委が中間報告 民間による再開発が適当

特別委員会は①町営による改築は一般会計に大きな負担を与えるため町民の合意は難しい②民間は町営よりも優れた事業展開ができる—などの理由から民間活力の導入による再開発が適当とした上で、幕別温泉が町民の健康と福祉の場として果たしてきた役割を考慮し、民間になつても住民福祉を後退させない。また周辺の開発は観光を中心とした経済の活性化と同時に町民の健康の場として検討すべき。依田公園の機能の充実をさらに図り、町民の生活環境の向上を図るべきであると報告。また町は同日の議員協議会に「民間への委譲について」の協議案を提案、議会はこれを承認した。

### 10月20日覚書に調印 正式契約は来年の見通し

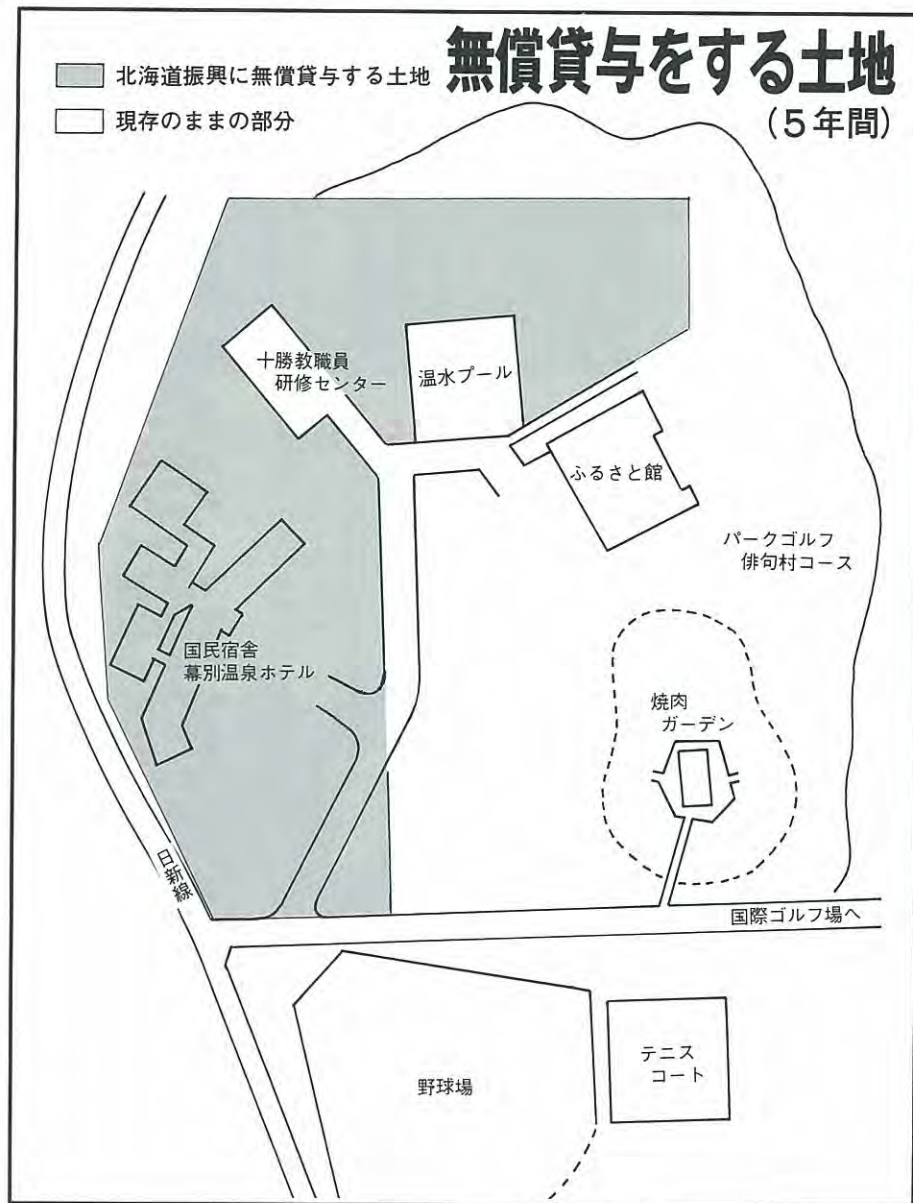
議会の承認を受けて林町長は十月十九日、札幌市の北海道振興本社を訪れ、翌二十日、林町長と久末聖治北海道振興社長との間で覚書を交わし、調印が行

## 無償貸与をする土地

(5年間)

北海道振興に無償貸与する土地

現存のままの部分



平成二年度に着工 ホテルの構想は

# 地上12階 収容人員600人 500人規模の結婚披露宴会場も計画

新しいホテルは現時点では地上十二階建て、収容人員六百人の規模の構想です。細部については、これからになります。

## 一階にコンベンションホール

一階にはロビーやレストランのほか、コンベンションホール（大会議室）があります。このホールは会議の場合で約七百人、結婚披露宴だと約五百人を収容できる規模を計画しています。

二階は結婚式場や会議室があり、三階から十二階までが客室です。客室は約百五十室、六百人の宿泊を予定しています。

## 12階にスカイラウンジ

十二階にはスカイラウンジ（展望レストラン）を計画。家族や友達と食事をしながら十勝平野の四季の移り変わり、そして今よりもグレイドアップした夜景を楽しむことができます。

平成3年春オープン予定

(新ホテルの構想図)



## 北海道振興は こんな会社です

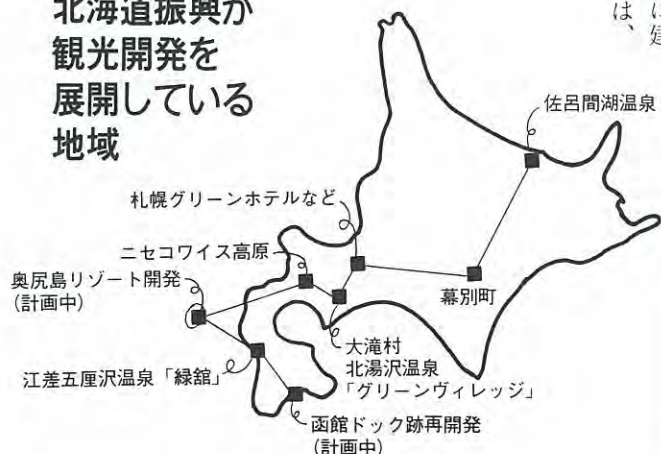
札幌すすきので日本一の飲食店ビル会社と言われ、現在七店のビル（グリーンビル一号〜七号）を所有している。

ホテル業界には昭和四十六年にすすきのグリーンホテルで進出。すすきのは三つのホテルを経営している。周遊型リゾート構想を柱に昭和五十七年に江差、五十九年に大滝村、六十三年には佐呂間とニセコにと、各地で温泉ホテルを経営。幕別のほかにも函館ドック跡の再開発や奥尻島リゾート開発にも着手するなど、全道的な観光ネットワークを展開している。

昭和六十二年に札幌市川沿に建てた「グリーンホテル札幌」は、東北以北最大規模のコンベンション（会議または集会の意味）ホテルとして有名である。また観光開発にも道内随一の実績を持ち、独自の観光ネットワークを使った高い集客力も持っている。

○北海道振興株式会社  
・久末聖治社長○本社・札幌市中央区北五条西八丁目○資本金・十五億二千万円○設立・昭和二十四年○従業員数・二百四十七人（昭和六十三年）

## 北海道振興が 観光開発を 展開している 地域



調印後握手を交わす町長と久末会長、久末社長



これにより町は、十二月以降の町議会に建物の譲渡、約三ハの土地の無償貸与、温泉源泉の無償譲渡などの議案を提案、その後北海道振興と正式に契約を結ぶ見通しとなった。

われた。



メインステージ前はカラオケ大会や君タ子さんの歌を楽しむ人達でいっぱい。君さんの高音はアゴを上げて、低音は引いてとの話にうなづく人も多かったのでは。

大久保観光協会会長からアキアジをプレゼントされた君さん。イクラも欲しい～と言っていました。



# 天気人気元気 絶好調の 第12回産業まつり

朝早くから大人も子供もぞくぞくと集まった10月1日、産業まつりは絶好調でした。ミニ四駆やコイのつかみどりで子供たちの元気な声、カラオケ大会や歌謡ショーには大人の人気が集まり、天気も最高の楽しい一日を過ごしました。



竹とんぼ

リング回し

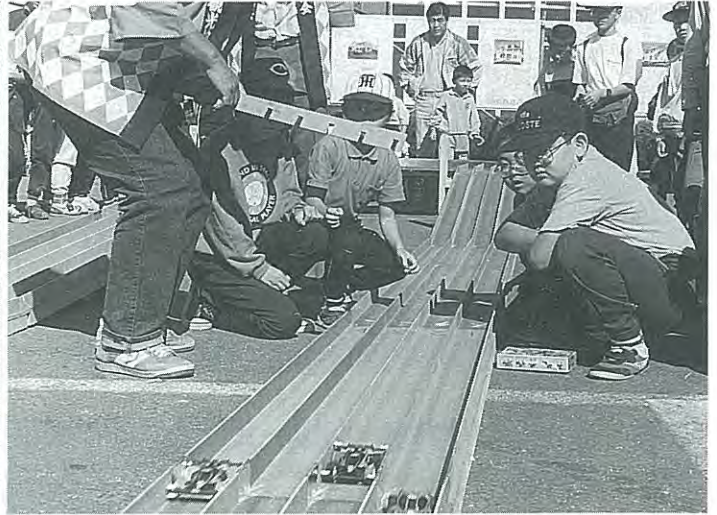


ケン玉

開館十周年を記念し、「第一回ふるさと館まつり」が産業まつりに合わせて開かれました。館内では昭和三十年代の町民運動会のピテオや昔の遊び教室が開かれ、外ではイナキビのもちつきやせんべいを焼いて、大人も子供も昔の味と遊びを楽しんでいました。

**なつかしい  
遊びと味を再現**

第一回ふるさと館まつり



コイのつかみどりは 220人でしめ切り、20匹のコイを20人ずつで挑戦しました。見事つかまえると帰りにはアライになっています。夕食のおかずが増えて、お母さんが喜んだでしょう。

昨年の産業まつりで初めて開かれたミニ四駆大会は今年も大人気。整備や点検を万全にすませた愛車を持参して集まった子供たちは145人。予選はコースを2周してタイム順で決勝へ。スタート直後の愛車を見る目は真剣です。



商工会青年部が開いた子供縁日広場。金魚すくいや綿アメもあったけど、この輪投げに結構人気が集まりました。輪が自転車のタイヤチューブでできているから投げづらいわ、飛ばないわでなかなかむずかしかったみたいです。

30メートルのなが〜い鉄板に合わせて両側に人の列が続きました。自分で焼いて砂糖正油で食べるのが正統派。



まつりが終わり、人が帰り出すとゴミの山が突然現われます。ゴミの量で人の多い少ないがわかるのですが、今年もいっぱい出ました。来た時と帰りの体重の違う人が多かったんですね。



町宮牧場で飼育しているサホーク種の毛を利用して「羊毛研究会」のメンバーが糸つむぎを指導。

せんべい



イナキビのもちつき ケンパ



## 札内地区下水道の通水式

昭和五十九年から整備を進めていた札内地区下水道の通水式が九月二十七日、関係者百人が出席して札内中継ポンプ場で行われました。修ばつ式の後、ポンプ場前で林町長や関口議長がテープカットを行い、通水を祝いました。



## 原始時代の味がしたよ

白人小の6年生43人は社会科の勉強をより身近なものにしようと、縄文式土器をまねて7月に自分たちで土器を制作。10月11日にはサツマイモやアサリをこの土器で煮て、試食してみました。原始時代の味がしたそうです。



## イベントでカップル誕生

若い女性との出会いの場をつくらうと農業青年たちが十月七日夜イベント列車を走らせました。男性六十人、女性は八十人が参加し、帯広と浦幌町新吉野を往復する間に二組のカップルが誕生しました。

## 東京で農産物を売る

幕別町物産協会の初事業として九月三十日と十月一日の両日、東京都目黒区で物産展を開きました。持って行った物はジャガイモやカボチャ、豆などの農産物約十トン。あつというまに完売となりました。



## 町づくりを見た聞いたー町内見学会

町内の主な施設等を見学し、町民の皆さんにより深く町づくりのご理解をいただくとうと十月十二日、町内見学会が行われ、十六人が役場前からバスに乗り込みました。



札内川ゴルフ場を見学する参加者

下水道浄化センターを振り出しに上水道浄水場や葬斎場、札内スポーツセンター、札内川ゴルフ場などを町職員の説明を受けながら回り、毎年少しずつ変わっていく町のように参加者は自分の目と耳で確かめていました。

午後からは林町長も出席して幕別温泉ホテルで座談会。あいさつをかねて町長から、幕別温泉ホテルの今後や札内川ゴルフ場の概略などの説明がありました。参加者からは「燃えないゴミが増えているので収集回数を増やしてほしい」「水を殺菌する塩素は人体に影響はないのか」など、数多くの意見や要望が出されました。

## 全国身体障害者スポーツ大会 丸山末松さんが出場

第二十五回全国身体障害者スポーツ大会が九月三十日と十月一日、札幌市で開かれ、千二百八十一人が八競技に熱戦を繰り広げました。この大会に南町の丸山末松さん(七三)が十勝からは五人のうちの一人、北海道選手の中では最年長選手として出場しました。

丸山さんは昭和五十一年に脳血管で倒れ右半身マヒに。五十八年からハビリのつもりでアーチェリーを始め、週二回の練習の成果がみのり、大会ではアーチェリー

優勝、ソフトボール投げ三位と輝しい成績を収められました。「アーチェリーのおかげでこんなに回復できた。これからも続けたい」と話される丸山さん、しばらくは体を休め、健康に気をつけてこれからもガンバッテ下さい。

メダルを手にする丸山さん





500円の図書券が当たる

寒くなってきたね。家の中にいる時間も長くなってきたから、これからは毎月挑戦しよう。

- ① 12月3日にオープンするのはなに
  - ① 札内スポーツセンター ② トレセン
  - ③ 図書館
- ② イベント列車は帯広とどこを往復した
  - ① 浦幌町 ② 豊頃町 ③ 幕別町
- ③ 縄文式土器を作った小学校は
  - ① 南小学校 ② 白人小学校 ③ 北小学校
- ④ 丸山さんが優勝した競技は
  - ① ソフトボール投げ ② アーチERY
  - ③ 車いすマラソン
- ⑤ 1歳から5歳までで虫歯のあった率は
  - ① 20% ② 65% ③ 73%

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-①)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えて下さい。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃く書いて下さいね。

★あて先=☎089-06

幕別町本町130 役場・広報広聴

★締め切り=11月15日(15日の消印有効)

★前回の正解は、①-②、②-②、③-②、④-②、⑤-②でした。応募30通で全問正解が29通。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

日沼麻美(9・文京町) 阿部幸代(12・新北町) 山形宏恵(15・相川) 入谷貴美子(?・若草町) 根本幸子(?・緑町)



# みんなの ジューピー

**毎**月、いろいろな話題で楽しい事を記載ありがとうございます。まくべつ広報、読んで幕別の事がわかり、益々町が好きになります。来月も楽しみです。↓旭町・伊東悦子(三三)

**深**まりゆく運動公園の秋、日ゴルフを楽しんでいます。今年はいろいろな大会に出られてうれしかったねえ。思い出いっぱい



**今**年のは大変うれしいのですが、作物のとれぐあいかかっていますね。農家の皆さんも大変でしょうが、これから収穫の時期、頑張ってください! ↓若草町・入谷貴美子(?)

**ほんの一言**

☺: 図書券一回も当たってないのに。 ↓文京町・日沼麻美(九)



**こちら編集室です**

札幌市内の某病院でパークゴルフをりハビリに活用、効果を上げているそうです。十一月下旬には学会で発表とか(浅田)パークゴルフフリーズも残りわずか。今年も五回もプレーできましたが、パークがやっと。アンダーを出す人が神様に見える私です(森)

♣: 麻美ちゃんおめでとう、当たったよ!

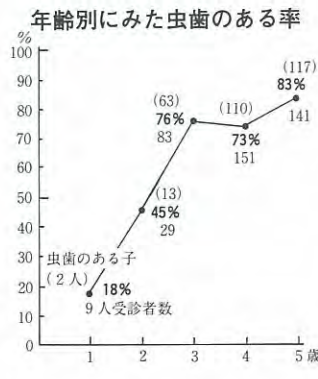
☺: 十月十日はmy・birthdayなので、ぜひひ図書券下さい! ↓あかしや町・下保美由紀(二三)

☺: 図書券がほしいので、クイズの答えを一生懸命考えました。中2です。 ↓宝町・前多幸恵(二三)

☺: 今年二十七日で十四歳。よろしく! ↓緑町・金曾未央(二三)

☺: 年賀状でごめんなさい。 ↓旭町・東野浩(二三) 気にしないでね。

丈夫な歯は、一生物をおいしく食べられるだけでなく、全身の健康にも深いかわりがあります。また良く噛む(噛める)ことで脳に刺激が伝わってボケの防止にも役立つとも言われています。その丈夫な歯をつくるために、幼児期の食生活や歯みがきについて今一度、認識を新たにしてほしい」と大内先生はおっしゃっています。



子どもの73%が虫歯

**歯を大事にしよう**

札幌大内歯科医院が実態調査

札幌大内歯科医院(大内慶治院長・豊町)が子供たちの虫歯の実態調査を行いました。その結果をご紹介します。

今回の調査は一―五歳までの四百二十三人を対象に行われ、七三%の子に虫歯がありました。年齢別で見ると大きくなるにしたがって虫歯のある子が増え(表を参照)、虫歯だらけの子と虫歯がない、またはきれいな状態の子に分かれる傾向にあります。

# 聞かせてください あなたの意見

年金について



## 苦しい時は免除申請をした 今10年前にさかのぼって納入

3年前に入院し、働けなくなって始めて老後を考えるようになりました。生活が苦しい時は役場に行って保険料の免除申請をしたので、今になってでも10年前にさかのぼって納めることができるんです。そのぶんまとめて納めるので、保険料も多くなりますが、そのままだったら2年前にしかさかのぼれず、資格もなくなるところでした。申請をしていて本当に良かったと思っています。  
旭町 (主婦・51歳) 中鉢 キヌ子



## 60歳になってから保険料を納める 歳をとってからは年金が頼り

テレビや町のおしらせで年金の説明があっても、自分が何をしたらいいのかわかりませんでした。役場に聞いてみたら、加入しなくても良かった期間の分を60歳から納めることができると知り、少しでも多く年金をもらおうと思って今、保険料を納めています。歳をとったら仕事で定期的にお金が入ってくることはありませんので、これからは年金だけが頼りになります。  
若草町 (主婦・62歳) 小林 操

## 決まりました 年金標語

**最優秀**  
国民年金つんで老後は  
まず安心  
糠内 島倉 和子さん

**優秀賞**  
年金は老後をますます楽します  
年金をもらって悠々自適です  
若草町 伊藤 幹枝さん  
本町 吉井富美江さん

### 標語は制度の啓もうに

広報十月号で「国民年金標語」を募集したところ、たくさんの方から応募をいただきました。

選考委員会で選考した結果、糠内の島倉和子さんの作品が最優秀賞に決定。優秀賞には伊藤さん、吉井さん、藤田さんが選ばれました。みなさんには後日、粗品をプレゼントさせていただきます。ありがとうございます。

なお選ばれた作品は、今後、国

### 納めて安心老後の生活

緑町 藤田 泰子さん

国民年金制度の理解と啓もうを進めるために使わせていただきます。

国民年金で老後の  
ゆとりとあしん

同時に行われたクロスワードパズルにも、たくさん応募をいただきました。抽選で次の五人が当選、粗品をプレゼントします。  
○佐藤とし・春日町○古川春江・緑町○橋本貴之・春日町○山崎つるゑ・五位○阿部麗子・旭町

### 12月号は新年の抱負

十二月、来年一月号は新年の抱負についてがテーマです。来年のことを言うときが笑うと言いますが、来年はどんなことをしたい、何を目標にするなどのご意見をお待ちしています。ハガキなどに二百字前後で役場広報広聴へ。

### 1月号も新年の抱負

### クロスワードパズルの答え

1	に	っ		6	ゆ		7	と	8	く
	ん		5	か	か	し				え
2	い	3	ね		り		9	し	ん	ん
		4	ば	す		10	ち	よ		
11	く	り		14	い		16	う	ま	
	に		13	ま	く	15	う		あ	あ
12	お	お	す		18	し	あ	い		

「寄付ありがとうございます」

### 社会福祉協議会へ

▽長尾順子さん(宝町)から五万円と車椅子二台ほか▽角田和夫さん(札幌市)から四十万円▽森野喜久子さん(錦町)から五万円▽川口義博さん(あかしや町)から三万円  
■老人クラブへ

▽西川謙三さん(緑町)から緑町老人クラブへ二万円▽矢野フデノさん(中央町)から札内寿会へ五万円▽内藤宗治さん(豊岡)から稲志別老人クラブへ二万円▽長尾順子さん(宝町)から宝町老人クラブへ三万円▽森野幸作さん(南町)から南町老人クラブへ五万円

角田政平さんの長男、和夫さんが  
町に三百万円を寄付  
開基百年記念基金に

### 林町長に寄付を手渡す角田和夫さん



札内中央町の角田政平さんの長男、和夫さん(札幌市)が九月二十五、「父の米寿を祝い開基百年基金に積み立てて下さい」と三百万円を町長に手渡しました。